

今月の一言

キーワード：近江商人家訓

「三方よし」の「売り手よし、買い手よし、世間よし」

売り手の都合だけで商いをするのではなく、買い手が心の底から満足し、さらに商いを通じて地域社会の発展や福利の増進に貢献しなければならないとしたものです。三方よしの理念が確認できる最古の史料は、1754年に神崎郡石場寺村（現在の東近江市五個荘石馬寺町）の中村治兵衛が書き残した家訓であるとされています。

「始末してきばる」

「始末」とは無駄にせず儉約することを表すが、単なるケチではなくたとえ高くつくものであっても本当に良いものであれば長く使い、長期的視点で物事を考えること。また「きばる」とは本気で取り組むこと。

「利真於勤」（りはつとむるにおいてしんなり）

利益はその任務に懸命に努力した結果に対する「おこぼれ」に過ぎないという考え方であり、営利至上主義の諫め。陰徳善事

人知れず善い行いをするを言い表したもの。自己顕示や見返りを期待せず人のために尽くすこと。

勤勉努力・正直堅実 始末儉約・陰徳善事

2018年3月23日

さいのう とおる

追伸：曇ったり、寒かったり気候が安定しません。体調管理をしっかりとってください。四月から新入社員が入ります。お手本になる行動と指導をお願いします。